

24時間携帯型ホルター心電図検査について



何の検査？

現在、高齢化や生活習慣病の増加に伴い、不整脈など心臓に不安を抱える人が増えています。動機・息切れ・胸の痛みなどの症状がある時に、**虚血性心疾患（心筋梗塞、狭心症）や不整脈などの早期発見、早期診断**に有効な検査です。

24時間ホルター心電図検査とは？

短時間の安静心電図や運動負荷心電図検査では左記の心疾患の異常は発見できないことがあります。より詳しい状態を調べるためには、日常生活環境での心電図を長時間記録が必要です。その為にこの検査では丸一日（24時間）かけて実施します。

検査の流れ

- ① 心電図を記録するために、電極と記録器を取り付け。
（取り付け時間は15分程）
- ② 記録器を取り付けたまま、いつもと同じ生活をする。（入浴はできません。）機械に登録された6つのイベント（食事、トイレ等）があった時は**記録用リモコンのボタン**を押す。



睡眠時の心拍数の変化から睡眠時無呼吸を推定も可能です！



- ③ 丸一日経過後来院いただき、電極と記録器を取り外す。
- ④ 後日診察時に、解析結果の説明。



取付けのストレス軽減の為、
『薄さ9mm、世界最軽量13g』
の小型軽量なものを採用！

このような症状を感じたら医師に相談を！

- 動悸がする。（胸がドキドキする／脈が早い、または遅い／脈がとぶ）
- めまい・失神することがある。（頭や体がぐるぐる、ふわふわ感じる／立眩み／一時的に意識がなくなる）
- 胸痛がある。（胸が苦しい／胸が痛む）
- 息切れすることがある。（階段の上り下り、少しの運動で息切れがする）
- 昼間眠い（いびきをかく／睡眠中呼吸が止まっていると言われたことがある／集中力が続かない）